# V 施工管理記録様式

# (白紙)

#### 施工管理記録様式目次

様式番号	名	備考
1	出来形測定品質管理総括表(表紙)	
2 - 1	測定結果一覧表 1	
2 - 2	測定結果一覧表 2	
2 - 3	暗渠排水工事測定結果一覧表	
2 - 4	牧草生育調査記録表	
3	出来形管理図	
4	度数表	
5	X 管 理 図	
5 – 1	X-R管理データシート	
5 - 2	$ar{ imes} -  ext{R}$ 管理図	
6 - 1	X-Rs-Rm管理データシート	
6 - 2	X一Rs一Rm管理図	
7	土質試験結果一覧表	
8	土・凍上抑制層の突固め試験	
9	現場における土の単位体積重量試験 (砂置換法)	
10	盛土締固め総括表	
11	現場密度および締め固め時の含水比較試験取りまとめ図(取りまとめ例)	
12	凍上抑制層・路盤工材料試験成績一覧表	
13	凍上抑制層・下層路盤材料のふるい分け試験一覧表	
14	路盤材料の突固め及び修正CBR試験成績表	
15	路盤材締固め度測定総括表	
16	基層・表層工の骨材試験成績一覧表	
17	ふるい分け試験取りまとめ図 (記載例)	
18	アスファルト混合物の温度測定結果一覧表	
19	アスファルト混合物の密度試験成績一覧表	
20	計量自記記録合格判定値	
21	計量自記記録値判定成果	
22	アスファルト合材の性質計算	
23	アスファルト合材舗設実績表	
24	舗装路面の平坦性測定	
24-1	区画線出来形測定結果表 (1)	
24-2	区画線出来形測定結果表 (2)	

様式番号	名称	備考
24-3	路面表示出来形測定結果表	
25	骨材試験成績一覧表	
25-1	コンクリート骨材ふるい分け試験取りまとめ図 (記載例)	
26	コンクリート管理試験日報	
27	空気量、スランプ等の取りまとめ図	
28	コンクリート品質検査報告書	
28-1	寒中コンクリート温度管理記録表(例)	
28-2	レディーミクストコンクリート配合計画書	
28 – 3	レディーミクストコンクリート納入書	
28-4	コンクリート強度試験表 (シュミットテストハンマーによる)	
29	杭打ち成績表	
30	杭打込記録表 (記載例)	
31	杭貫入量測定記録図	
32	場所打ち杭施工記録表	
33	場所打ち杭管理記録図 (例)	
33-1	矢板出来形管理表	
34	井筒・深礎施工記録表	
35	井筒・深礎施工管理図 (例)	
36	PCグラウト試験	
37 - 1	プレストレッシング管理表(1)	
37 - 2	" (2)	
38	高力ボルト締付け検査記録票 (例)	
39	キャンバー測定記録表	
40	膜厚測定記録	
41	塗膜厚の度数分布表	
42	欠番	
43	欠番	
44	欠番	
45	欠番	
46	欠番	
47	欠番	
48	欠番	

様式番号	名	備考
49	欠番	
50	欠  番	
51	欠  番	
52	欠番	
53	点検表	
54	搬入主要資材検収整理簿	
55	工事写真帳 (添付用紙)	
56	鉄筋組立検査一覧表	
57	欠番	
58	欠番	
59	起伏修正工(I)における不陸均しの測定基準	
60	さく井工事柱状図	
61	均平度測定簿	

出来形測定

(工 種) 品質管理 総括表

種 目

(施工者) 受注者名

(現場代理人) 氏名

(主任技術者

または監理技術者) 氏 名

振興局出張所

注1. 出来形(品質)管理図表は、本表紙様式に全工種分を一括綴りとすることができる。

注2. 工種は土木(盛土)、杭工(コンクリート杭)、コンクリート擁壁工等とし、種目は標準高、厚さ、巾等と記入する。

- 292 -

# 測 定 結 果 一 覧 表

測定者

工種名

測点	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	規格値 D	規格値との差 E=B-D

工種名

工種名					
測点	設計値 A	実測値 B	設計値との差 C=B-A	規格値 D	規格値との差 E=B-D

- 注(イ) 出来形管理の場合はE欄には記入する必要はない。
  - (ロ) 品質管理の場合は必要な欄のみ記入し、他は空欄とする。

- 263 -

# 測 定 結 果 一 覧 表

工種名

																			\(\times_1\)	Æ	н			
測	点				ı																	I	備	老
<b>%</b> 1	7110	設	計	値	測	定	値	差	設	計	値	測	定	値	差	設	計	値	測	定	値	差	מוען	

# 暗渠排水工事測定結果一覧表

ほ場番号 面積 ha 受益者名 測定者

.о. уд		— М		··· /=					中     間     下     流       直地盤高設計深規格値地盤高設計深規格値       掘削高掘削深     ±50     掘削高掘削深     ±50																					
	配線	延長	配線	間隔			上		流					4			₽ I	1				ጉ	<u> </u>		济	ì				
渠 番 号	設計延長	規格値mm	設計間隔	規格 値	地	盤に	設	計泻	規	格	値	地	盤	高	設	計	深	規格	各 値	地	盤	高	設	計	深	規	格	値	備	考
	実測延長	-0. 2%-1000	実測間隔	±750	掘	削高	3 掘	削泻	Ę	±50		掘	削;	高	掘	削	深	±	50	掘	削	高	掘	削	深	<u>+</u>	=50			
							+																					-+		
							1																							
									1					$\dashv$											1			$\dashv$		
							-																					_		
							+																					+		
									-					_											_					
							1																							
							1							t																
																													· ·	
														_																
							1																							
							1							_																
														$\dashv$								_			_			$\dashv$		
							-		+					-											-			+		
														$\dashv$														$\dashv$		
					1															1										

# 牧草生育調査記録表

測 定 者

												<u>,,, ,с н</u>			
1年担来-旦	   五待 (ha)	测字符形		~	マメ科根	長(mm	1)		イネ	《科本数	<b>採 括</b> 日 口	测学日日	奴遇口粉	備	<del>*</del>
は物質な	面積(ha)	侧足面別	1	2	3	4	(5)	平均値	本数	平均値	11111111111111111111111111111111111111	侧足月日	経過日数	7/11	45
										-					
										-					
										-					
										<u> </u>					
										-					
										-					
										-					

- 997. -

## 出来形管理図

工種名 割定者

- 注1. 工種名は、土木(盛土) 杭工(コンクリート杭) コンクリート擁壁工等と記入する。
  - 2. 特性は、基準高出来形管理図表、厚さ出来形管理図表、幅出来形管理図表と記入する。
  - 3. 番号は、STA またはロット番号をあらかじめ定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。

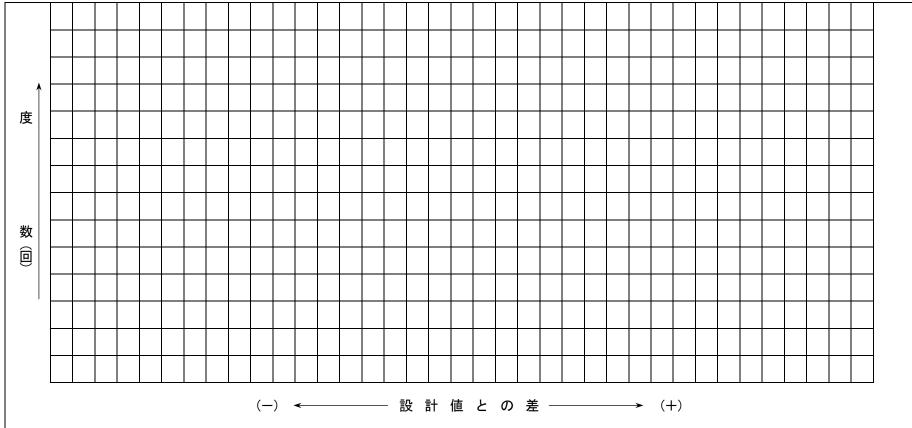
- 4. 月日は当該測点番号の測定月日を記入する。
- 5. 設計値との差の単位を定め目盛に数値を記入する。
- 6. 図表には許容範囲の線を朱書で記入する。
- 7. 記事は手直の処置等を記入する。

- 267 -

## 度 数 表

工種名 測定者

年 月 日現在



注: 出来形管理で20点以上の場合使用する。

# 品質管理・公式・係数・記号表

			 	理図				X —Rs—	-Rm管	<b>等理図</b>				
				 x 管理	図	R管理図		С		管理図	Rs管理	図	Rm管理図	
			C. L.	<u></u>		R		C. L.		$\overline{\mathbf{x}}$	Rs		_ Rm	•
公	式		U. C. L.	$\overline{\overline{x}} + A$	<sub>2</sub> R	D <sub>4</sub> R		U. C. L.	_x -	+ E ₂Rs	D <sub>4</sub> Rs	S	D <sub>4</sub> Rm	
			L. C. L.	$\overline{\overline{x}}$ – A	R	D₃R		L. C. L	<u>x</u> -	− E <sub>2</sub> Rs	_		D <sub>3</sub> Rm	
			x	一R管理	里及び	X —Rs—I	Rm管	理の管理	限界	は388	E原則と <sup>-</sup>	する。	0	
														1
			n		,	A 2		D 4		d	2		E <sub>2</sub>	
			2		1.88			3. 27		1. 1	13		2. 66	
係	数		3		1. 02			2. 57		1. 6	69		1. 77	
			4	0.73				2. 28		2. 0	)6		1. 46	
			5		C	). 58		2. 11		2. 3	33		1. 29	
			\alpha	, <del>/</del>							- O T-1		/4日 <b>今</b> 坐L \	
		X	:測定 ,b,:測定		めスた	- めの個々	T)						(組の数) D和) / {	( ~
		a	, D, .		x, 0, 1,		0)			K-1		(1100	21H//	( ^
		$\overline{\mathbf{x}}$			(1組	且の測定値	<b>の</b> 利					#れる	る二つの測況	定値
			/ (	(試料の)	大きさ	5)	の差の絶対値)							
記	号	<u>x</u>	: Σ <u>x</u>	∕k (x	の和)	/ (組の	和)	Rm: 浿	則定認	呉差に関	する範囲	Ē		
		R	:範囲	$= (x \sigma)$	最大信	直)一(x	の					_	(組の数)	
			最小	値)						理中心紛				
							U. C. L. : 上方管理限界線 L. C. L. : 下方管理限界線							
								L. C. L.	: 下	·万官埋队	<b>聚</b> 界線			

様	式(5	)	X 管 理 図						
	名	称		期	間	自	年	月	日
	品質	特 性	測 定 単 位	朔	[F]	至	年	月	日
	規格	最大	試し大きさ	測	定	者			
	限界	最小	料間隔	炽	Æ	71			
-	測	点							
-	月	<u>日</u>							
	記	事							

- [注] 1. 記事欄には、施工管理基準に定められた事項、異常原因、その他必要事項を記入する。
  - 2. 管理図は、仕様書による規格限界線を朱書で記入する。

<b>兼</b> 豆	t(5-	-1)			_											
						X -	– F	管理	里デ	ータ	シ-	<b>-  </b>				
名		称										期	自	年	月	日
品		持性				測		単	位			741	至	年	月	日
規	_	最大				- 試	不斗 —	き				測	定者			
限	界	最 小					"   間	<u> </u>	隔							
201	<b></b> 1	試		測	定	値			平均							
	点また 月日	試験番号	<b>X</b> 1	X 2	<b>x</b> <sub>3</sub>	X 4	<b>X</b> 5	計 Σx	值 — ×	範	囲	R	項目	X	F	₹
		1												•	•	
		2														
		3												匀		
		4												<b>数</b>		
		5												<del>'</del>		
		6											累言	<del> </del>		
		7														
		8											平力	匀		
		9												汝	1	
		10												+		
													累言	<del>'</del> +		
		11													•	
		12														
		13														
		14														
		15														
	-	16														
		17											- I			
		18 19											平均個数	习 数		
	+-	20												χ +		
		20												+		
				<u> </u>								n	d <sub>2</sub>		D 4	
記												2	1. 13		3. 27	
												3	1. 69		2. 57	
事												4	2.06		2. 28	
7'												5	2. 33	3	2. 11	
 (注)	2.	規格限	界、	設計	基準値	は施	工管理	基準	、設計	記入す <sup>を</sup> 図書、作 ばによる	士様書	計に定め	られた値	直を記入す	- る。	

[備考]	管理限界線計算のための区間を示す。
	上記の管理限界を適用する区間を示す

\_\_\_\_\_\_ 上記の管理限界を適用する区間を示す。 4. 21組~40組までは別に新しいデータシートに記入する。以下20組毎に同様とする。

名	称			#0 88	自	年	月
品質	特 性		測定単位	期間	至	年	月
規格	最大	討	大きさ	測定	:者		
限界	最小	料	料 間隔	川 川 た	. 19		
x							

- [注] 1. 管理図は様式 (5-1) X -R管理データ・シートから記入する。
  - 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

様 式(6-1)

## X-Rs-Rm管理データシート

名			称										45		自	年	月 日
品	質	特	性				測	定	単	位			期	間	至	年	月 日
規	格	最	大				4-=	3/4	大き	5			2 <b>8</b> d	-	<u>+</u>		
限		最	小				一試		間	隔			測	定	者		
		-	<b>≣</b> #		201	_	I <del>-</del> ±			1		'nıc'ı±					
	点また	:	試験番号		測	定	値		計	平均値	移動範囲	測定値 内の範囲	項目		Х	Rs	Rm
la	t月日		番号	<b>X</b> 1	X 2	Х 3	X 4	<b>X</b> 5	Σx	×	Rs	Rm	7,1		^	113	13111
			1													•	
			2														
			3										平均	匀	X	Rs	Rm
			4										個数	女			
	+		5										小言	_			
													累言				
			6														
			7														
			8										平均	匀	X	Rs	Rm
			9										個数	女			
			10										小言				
													累言				
			11														
			12														
			13														
			14														
			15														
		_	16														
			17														
			18										平均	匀	X	Rs	Rm
			19										個数	女			
			20										小言	+			
			U	L									累言	†			
	x :	UC	L=	X +	E <sub>2</sub> ·	R s							n		d <sub>2</sub>	D <sub>4</sub>	E <sub>2</sub>
記		LC	L=	<u></u>	E <sub>2</sub> •	 R s							2		1. 13		2. 66
					- <sub>2</sub>								3		1. 69		1. 77
事													4		2. 06		1. 46
	Rn	n : L	JCL	=D <sub>4</sub> •	Rn	า							5		2. 33	2. 11	1. 29

- 〔注〕 1. 品質特性、測定単位は、施工管理基準により記入する。
  - 2. 規格限界、設計基準値は施工管理基準、設計図書、仕様書に定められた値を記入する。
  - 3. 管理限界線の引直しは5+3+5+7+10+10+10方式による。

〔備考〕 ――― 管理限界線計算のための区間を示す。

------上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 以下最近の20個(平均値×を1個とする)のデータをもちい次の10個に対する管理限界とする。

<b>羡</b> ヹ	t(6	- 2	2)																																							
											X		_	_	R		3	_	•	F	7	m	1	官	雪	3	理	义														_
名			称																											+	朝		間	É	ı		白	F	月		日	
品	質	特	性							2	則	:	定		単		位													7	<del>∜</del> 7]		HJ	至	<u> </u>		白	F	月		日	
規	格	最	大								試			大	き ;	さ															<b>-</b>				_							
限	界	最	小								料			間	ß	隔														ì	則	定		7	旨							
	× ≀s																																									
	Rm																																									
	の																																									
記			事																																							

- 〔注〕 1. 管理図は様式(6-1) X—Rs—Rm管理データ・シートから記入する。
  - 2. 記事欄には、異常原因、その他必要事項を記入する。

# 土質試験結果一覧表

工 種 名

測 定 者

試	米	土	No.				
= 小小	上の深る	地表面か	ら				
武八 不升 _	上の沫。	基準面が	b				
試 *	斗 土	採取年月	日				
試料	<del> </del> ±	採 取 時 の み	. 候				
土	粒	子 の 密	度				
	最	大	径				
粒	2. Omm	ふるい通過率	%				
度	425 μ n	1 "	%				
	75 μ n	ı "	%				
□ <u>_</u>	液 1	生 限 界	%				
<b>コンシス</b>	塑 1	生 限 界	%				
スイ	塑	性指	数				
分	統	一 分 類	法				
	日本	統一分類	法				
類	見	か	け				
	現場	含 水 比	%				
自然土と	現場	乾燥密度 g /	cm 3				
土めと土	最 遃	直含水比	%				
	最大	乾燥密度 g /	cm 3				
	地山	(N=0)					
円 (コー		N = 20					
貫え	室	N = 40					
円錐貫入試験	内	N =80					
		N=120					
ボーリ土層圏		状及び中心線に沿っ	ð				

記事

注)記事欄には試験機関名その他の試験結果等を記入すること。

### 土 凍上抑制層

試料採取地名

試 料 番 号

測定者

%

試験目的:普通締固め・CBR締固め 乾燥処理前含水比: % 乾燥処理前含水比: %

試験方法の呼び名: 試験方法 試験開始前含水比: % 土粒子の密度: 突固め方法: 試料の使用別: 繰返し法・非繰返し法

モールド内径: 10cm・15cm cm 試料の準備法: 乾燥法・湿潤法

試料許容最大粒径 mm 許容最大粒径以上の粗粒分の乾燥質量百分率

測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8
乾燥密度 γ d g/cm3								
平均含水比 w %								



含水比w(%)

備考 \*その他の突固め方法 c:ランマー質量 kg、 落下高 cm、突固め回数 回/層(層)

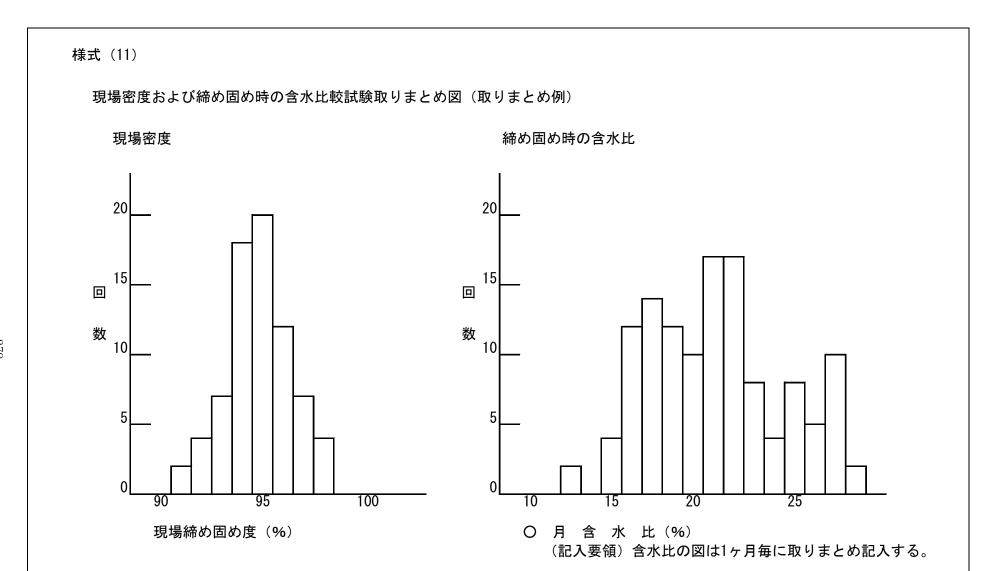
\*\*湿潤法を用いた場合

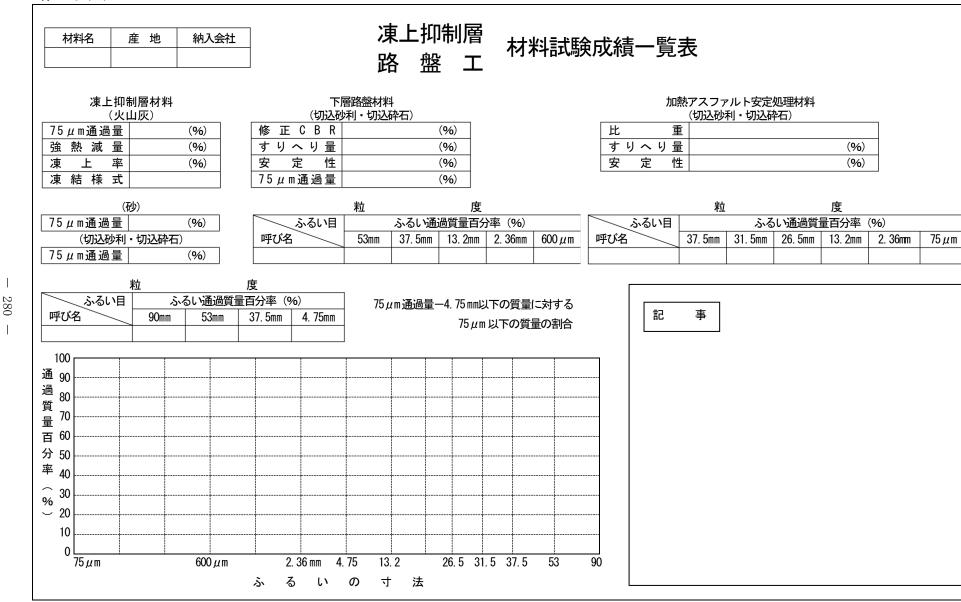
	注砂		現均	易にる	おける土	の単位	体積				置換沒	去)	報	告	用	紙
曹査	名・調査は	也点						試懸	年月	日目						
小点	番号・深る	<u>*</u> : No.				(m	)	天		候						
		所属						試	験	者						
	検 定		の深	<b>*</b>	Н											
	測 定	器	番		No											
	測定器お	よび投入 定 重	、した砂?	質量 (	W <sub>1</sub>			g								
		<del></del>	<u>E                                    </u>	/ 量	W <sub>2</sub>			"								
式		砂	質		Wa=W <sub>1</sub>	$-W_2$		"								
负	検 定 容	器およ	び砂質		1			"								
Ħ	検 定	容器	景 質	量	W 4			"								
少	検 定 容	器内	砂質	量	Wb=W <sub>3</sub>	-W <sub>4</sub>		"								
	測定器	および	残砂質	重量	W <sub>5</sub>			//								
D	測 定 器	内 残	砂質	量	Wc=W₅	$-W_2$		"								
矣	検 定	容器	の体	積	Vc=206	×H		cm3								
Ē	試験砂	の単位	体積質	重量	$\gamma s = \frac{V}{V}$	V <sub>b</sub>		g/ <b>cm</b>	3							
	平	均		値	γs			"								
	ベースフ 満 た	レードお	。 よび漏 ゆ 質	斗を量	Wf=Wa-	-Wb-	Иc	g								
	平	均		値	Wf			"								
	試 験	孔	番	号	No.											
	土	質		名												
	土 の	最っ	大 粒	径	Dmax			cm								
_	容	器	番	号	No.											
上 り	(湿潤土	二十容器	景)の質	重量	W <sub>6</sub>			g								
单一	器 容	の	質	量	W <sub>7</sub>			"								
单立本責重量	湿潤		D 質		$Wd=W_6$			"								
	測定器は				_	' <sub>1</sub> )		"								
Ī	測定器							"								
Ë	試験孔に							"								
	試 験		り 体		$V = W_{10}$			cm3								
	土の湿	潤 単 位	体積質	量	$\gamma$ t=Wd			g/cm	3							
	土の乾力	燥 単 位	体積質	重	$\gamma d = -$	100 <sub>7</sub>										
 E	<del></del> 考				1										l	
		含水量	計験 🗄	粒 :	L 試験	<u> </u>	No.			No.		No.		No.		
Ĭ	径	試料最	と小量:	最	小 量		Wa	Wb		Na 	Wb	Wa	Wb	Wa		b
	0.5mm 1.25	100			50 g 625	4	Wb Ww	Wc Ws		Nb Nw	Wc Ws	Wb Ww	Wc Ws	Wb Ww		c s
	2. 5	50			, 000	┨ ┃	w =	ws %		w =	ws %	w =		ww		s %
	5. 0	1, 0			, 000	]	No.			Vo.		No.		No.		
						•	Wa	Wb		Na Ni-	Wb	Wa	Wb	Wa		b
							Wb Ww	Wc Ws		Nb Nw	Wc Ws	Wb Ww	Wc Ws	Wb Ww		c s
							w =	%	,	w =	%	w=	- %	w:	=	%
							平均	含水			含水比	; 平均	含水比	平:	均含	

#### 様 式(10)

# 盛土締固め総括表

	古 str		<b>a</b> +		<b>金な田な</b> は	現場	密度	TR 48		
盛土材料採取地点	自 然 含水比	最 適 含水比	最 大 乾燥密度	盛土地点	締め固め時 の含水比	現場密度	締め固め度%	現 場 飽和度	摘	要

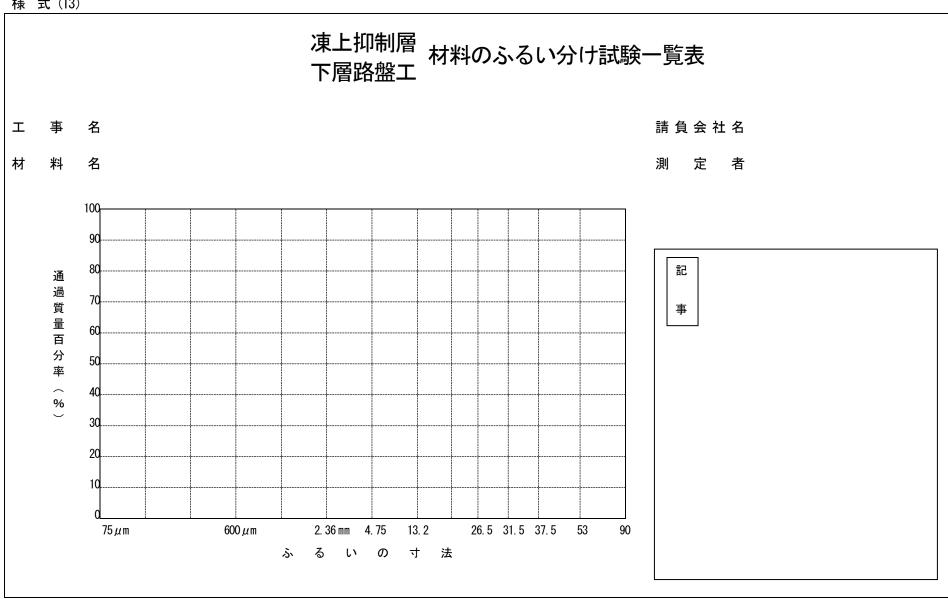




注)イ 産地及び材料ごとに記入すること。

ロ 仕様書の粒度範囲も記入すること。

ハ 記事欄には試験機機関名その他の結果を記入すること。



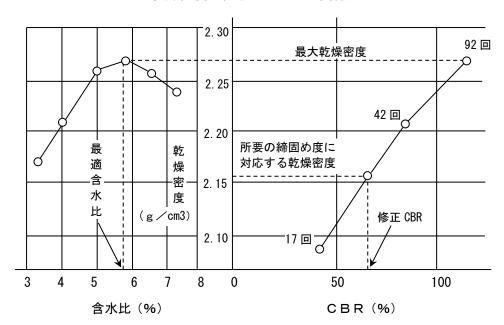
注) 仕様書の粒度範囲を記入すること。

### 路盤材料の突固め及び修正 CBR 試験成績表

測定者

材料名	産 地	納入会社

#### 乾燥密度・含水比・CBR関係図



最適含水比(%)	5. 6
最大乾燥密度(g/cm3)	2. 27
締固め度(%)	95
修正 CBR (%)	66

#### 記事

試 験 目 的: CBR 締固め

試験方法の呼び名:試験方法アスファルト舗装要綱

突 固 め 方 法:第2法試料の使用別:非繰返し法モールト 内容:15cm試料の準備法:乾燥法

試験許容最大粒径:38.1 mm

測定番号	1	2	3	4	5	6	
乾燥密度γdg/cm3	2. 17	2. 21	2. 25	2. 27	2. 25	2. 23	
平均含水比ω%	3. 2	4. 0	4. 7	6. 0	6. 6	7. 4	

(注) 記事欄には試験機関名その他を記入すること。

### 路盤材締固め度測定総括表

種別 測定者

	П	別よみが片架	(基準値)	現場	密度	+*	<b>—</b>
月	日	測点及び位置	最大乾燥密度	現場密度	締固め度%	摘	要

#### 基 層 工の骨材試験成績一覧表 表 層

材	料	名	産	地	納入会社

測定者

#### アスファルト舗装用材料

砕石•砂利

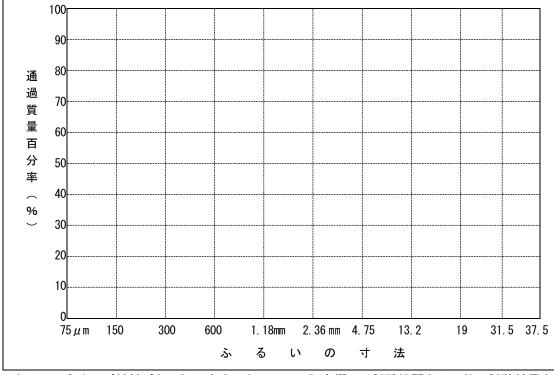
	比 重	
粗骨材	吸水量	(%)
租用物	すりへり量	(%)
	安 定 性	(%)

 出場
 出場
 上
 重

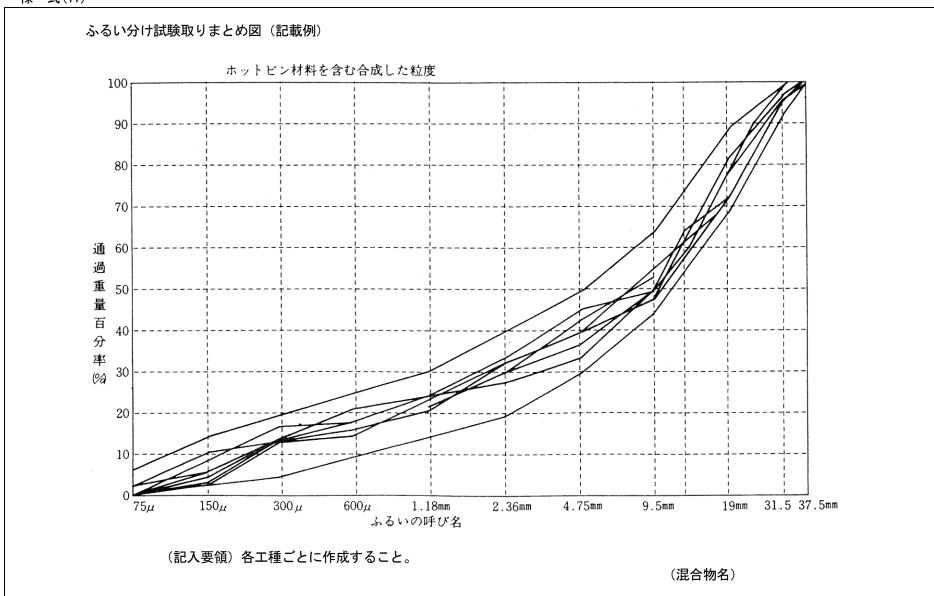
 吸水量
 (%)

 安定性
 (%)

記事



注)イ、産地及び材料ごとに記入すること。ロ、記事欄には試験機関名その他の試験結果を記入する。



### アスファルト混合物の温度測定結果一覧表

工 種 名 測定者

	アスフ 混 ぱ	ァルト 合 物	敷なら	らし時			温度	管理[	⊠°C				
測定月日		隻°C)	(温月	复°C)								摘	要
	最高	最低	最高	最低	180	170	160	150	140	130	120	111-1	
											İ		
											-		
											-		
											-		
											-		
											-		
											,		
											-		
事													

- 注)イ、当日の最低、最高値をプロットする。
  - 口. 記事欄には最適混合温度、異常原因その他必要事項を記入のこと。

# アスファルト混合物の密度試験結果一覧表

工 種 名 測定者

測定位置	密度 (g/cm3)	締固め度 (%)	締固め度管理図(	%)	摘 要
記 (	基準〕	仕様書の合格判定値		基準密度	
	測定結果〕	測定数	測定値の範囲	平均值	
事		合格判定値との対比			

#### 様 式(20)

### 計量自記記録合格判定値

1. プラント

2. 合材の種類 細粒ギャップ・アスコン

3. 1バッチ当計量値 *800 kg* 

4. 適 用 粒 度 1・②

#### ※ 実施配合比及び配合値

骨材累計最終ビン	2.5㎜直近ホットビン	石 粉	アスファルト
81. 7%	38. 4%	11.5%	6. 8%
653. 6kg	307. 2kg	92. 0kg	54. 4kg

#### ※ 合格判定値 Ⅰ、Ⅱ

項	<b>目</b>	判定項目	合格判定值	直I (kg)	合格判?	定値Ⅱ(%)
		<b>显针思珠目级</b> 16 5	653. 6	(±39. 2)		
1/1	<b>#</b>	骨材累積最終ビン	614. 4	~692. 8		
粒	度	0 F=== 古 ·	307. 2	(±48.9)	53. 0	(±11.0)
		2.5mm直近ホットビン	258. 3	~356. 1	42.	0 <b>~</b> 64. 0
			92. 0	(+19. 9)	11.5	(+3. 4)
石	粉	   石 粉		(-13. 8)		(-2. 3)
			78. 2 <b>~</b>	-111. 9	9.	2 <b>~</b> 14. 9
77-	<b>7</b> – u 1		54. 4	(±3.5)	6. 8	(±0.8)
, ,	ノアルト	アスファルト	50. 9-	~57. 9		0~7.6

上段・実施配合値(比)及び許容範囲 下段・計量値(比)許容範囲

### 計量自記記録判定成果

- 1. 合材の種類 *細粒ギャップ・アスコン* No.
- 2. 施 工 年 月 日
- 3. 記録 バッチ数 589 無効バッチ数 4 有効バッチ数 585
- 4. 合材出荷 t 数 467.835

#### ※各グループ別成果(第1次合格判定)

		<u> </u>	- II			, -
グル			範囲にはず	れる個数		
l   プ	有 効 バッチ数	Α	В	С	D	備考
No.		骨材累積 最終ビン	2.5mm直近 ホットビン	石 粉	アスファ ルト	
1	1 ~100	0	0	0	0	
2	101~200	0	0	1	0	
3	201~300	0	2	4	1	
4	301~400	0	0	1	0	
5	401~500	0	2	6	1	<i>不合格</i> →2次合格判定 舗設測定 000~000
6	501~600	0	0	0	0	
7	601~700					_
8	701~800					

×第	2次合格料	<b>川定</b>					
	グループ	No.50 C ⋅	• • • • 407	, 408, 452,	466, 489,	494	

様 式(22)

	.2)															
			ア	スフ			材 の	) 性質	計算							
合材動	9 ——	F/A	試験	温度	工種名							試験」	月日	年	月 日	
	i,e	G/S		C	配合の記				T			担当			T	
供域 番 号 No.	A · C	厚さ	重	量	容 種	比	重	容 積	空『	<b>第 %</b>	骨材の	相関	安定度	(kg)	フロ―値1/	<b>/100</b>
No.	%	(cm)	空中	水中	cc	実際	璑論	%	全胎	充 満	(MMA)	比率	ケージ のよみ	判定值	測定(	値
Α	В	С	D	E	F	G	Н	I	J	K	L	М	N	0	Р	
			$\frac{D_1}{D_2}$		D <sub>2</sub> -E	<u>D</u> 1		B×C Asの比重	100-100 G/H	$\frac{I}{I+J} \times 100$	I+J					

D<sub>1</sub>: 乾燥空中重量 D<sub>2</sub>: 水中重量測定後表面をぬぐったときの空中重量

#### アスファルト合材舗設実績表

エ 種

工事名

月			延	ф		舗装	面積		合	材 屯	数			7	7 ス	ファ	ル	۲				石		粉		
	測	点	~	.,,-		設計	実際	積算	合材	実際	ž	差	積	算	量	実際		差		積	算	量	実際		差	
	炽	尽	_			Α	В	O	Δ	Е	F	G	Ι	I	J	K	L	Μ	Ν	0	Р	Q	R	S	Т	U
日			長	員				Αx	Вх		C-E	D-E	Сх	Dx	Εx		н-к	I-K	J-K	Сх	Dх			O-R	P-R	Q-R
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					
					日計																					
					累計																					

摘 要

- (注) 1. 実際面積の巾員は50M毎の平均値とする。
  - 2. 設計面積の巾員は設計値とする。

様 式 (24)

				舗装路面	の平坦性	生測定		試験 用 報告	紙
調査	・工事名				j	則定年月日	年	月	日
測定	開始点				3	則定機の種類	□ 3	mプロフィル	メータ
測定約	终了点						□ 3	m直線定	 規
測定區	<b></b> 距離				j	則定者			
シー	卜番号								
No.	d	No.		d No.	d	No.	d	No.	d
1		21		41		61		81	
2		22		42		62		82	
3		23		43		63		83	
4		24		44		64		84	
5		25		45		65		85	
6		26		46		66		86	
7		27		47		67		87	
8		28		48		68		88	
9		29		49		69		89	
10		30		50		70		90	
11		31		51		71		91	
12		32		52		72		92	
13		33		53		73		93	
14		34		54		74		94	
15		35		55		75		95	
16		36		56		76		96	
17		37		57		77		97	
18		38		58		78		98	
19		39		59		79		99	
20		40		60		80		100	
1	Σd	(mm)			* 2	Σ d <sup>2</sup>	(mm2)		*
3	データ数		*	標準偏差 √(	$(2-1)^2$	/3) /(3-1)	(mm)		*
備考		1	L					1	

注)\*印の欄は、最後のデータシートのみ記述する。

#### 区画線出来形測定結果表(1)

項 目 測定者
---------

	T. 女 女											
	路線名	測定箇所	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	監督員記事
	計											
	平 均											
記	) <del>)</del> (==		1	1	ı	1		ı	ı		ı	
40	単位cm											
事	<b>事</b> 規格値 +2.0 cm −0.5 cm											

- 293

#### 区画線出来形測定結果表(2)

項	Ħ	測定者
		////C I

		設計値(A)			測定	差			
路線名	測定箇所	塗 布 長	Q 1	Q 2	Q 3	計	平均(B)	(A) – (B)	監督員記事
		破線間隔	l' 1	l' 2	l' <sub>3</sub>	計	平均(B')	(A')-(B')	
							1		
計									
			<u> </u>	1	<u> </u>	l	1		
規格	値 中央線破線 卓線境界線	<ul><li>塗布長 ±20</li><li>塗布長 ±20</li></ul>	破線間	隔 ±20	(平均値 B (平均値 P'	$\geq 0$			
	計 平 均 単位cm	計 平 均 単位cm	路線名 測定箇所 塗 布 長 破線間隔	路線名   測定箇所   塗 布 長   0 1	路線名       測定箇所       塗布長 0 1 0 2 では 2	路線名   測定箇所   塗 布 長   0 1   0 2   0 3	整布長       01       02       03       計         破線間隔       0'1       0'2       0'3       計         一個線間隔       0'1       0'2       0'3       計         日本       10       10       10       10       10         日本       10	路線名 測定箇所 塗布長 0 1 0 2 0 3 計 平均(B) 破線間隔 0'1 0'2 0'3 計 平均(B) 平均(B')  「一部では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	整線名 測定簡所 塗布 長 0 1 0 2 0 3 計 平均(B) (A)-(B)  破線間隔 0'1 0'2 0'3 計 平均(B) (A)-(B')  「

- 294 -

#### 路面標示出来形測定結果表

- 惧 目
-------

PQ 约 夕	路線名    測定箇所		区分			$\ell$ または $W_1$			なたはW <sub>2</sub>		野叔昌和市
<b>哈</b>	側处固灯	横断歩道	文 字	記号	引 設計値	測定値	差	設計値	測定値	差	監督員記事
計											
平均											
記単位cm											
規格	値 横断歩道	0 (長さ)	-10, W	(幅) -	-1, -0.5						
事	文字記号	W <sub>1</sub> (幅)	± 5, W	2 (幅) =	±5						

- 295